

放送番組によって友達と関わる力を育成する

岡山市立芳泉小学校ひばり分校 教諭 森永 進

小学校2年 道徳 新・ざわざわ森のがんこちゃん

番組の特徴

不器用で素直で明るいがんこちゃんと仲間たちが巻き起こす珍騒動や葛藤を、すべての子どもが楽しんで視聴し、道徳的テーマを感じ取ることを目指した番組である。

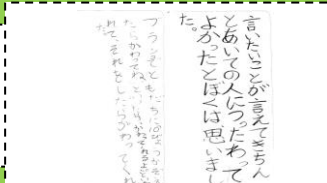
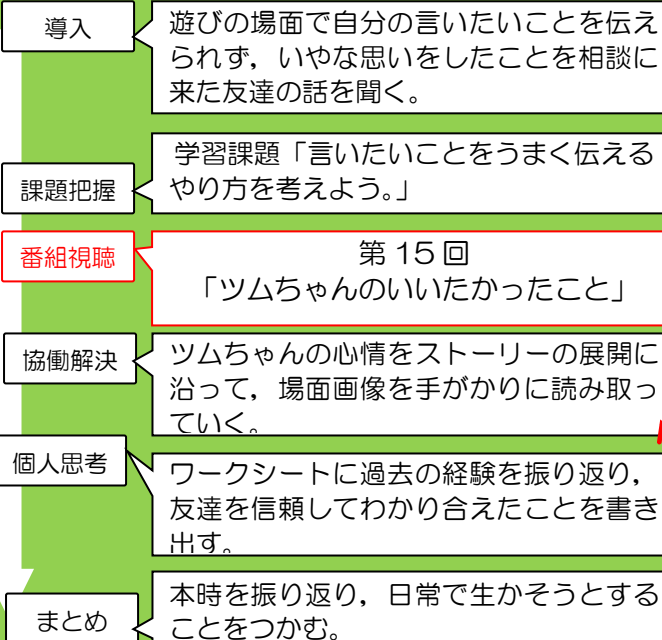
研究の概要

他者への信頼感を持ち、理解しようとする態度をもつこととともに、自分の言いたいことをうまく伝えることができるようになってほしいと考えた。「新・ざわざわ森のがんこちゃん」の視聴を通して、よりよい人間関係づくりを行い、お互いの信頼感を高めていきたい。番組視聴後に、自分の言いたいことを伝える場面でのトラブルを訴えることがかなり減ってきたことは態度形成の表れと考えられる。

授業デザイン（1 単位授業時間）

主題名：友情・信頼

ねらい：友達と仲良くし、助け合おうとする



番組や関連動画クリップの活用意図

課題をもつための番組視聴

資料の読み込みなどの個人差を意識せず、番組視聴を通して、主人公の「ツムちゃん」の心情に寄り添うことができると考えた。

場面画像の活用

NHK for Schoolの「新・ざわざわ森のがんこちゃん」のサイトにある場面画像を板書に活用することで、番組のストーリー展開を視聴後想起しやすくなると考えた。

思考の可視化にかかわる教師の工夫

場面画像の活用

ツムちゃんの心情に寄り添いながら、番組のストーリーを読み込み見やすくするために、ポイントとなる場面の画像を提示した。

ペープサートを活用して

ロールプレイング

ツムちゃんの心情を読み取ることに、自分ならどうするかを考えやすくするために、代表の児童がペープサートを持ちながら、気持ちを発表した。

生き生きと学ぶ子どもの姿

子どもの自己評価から

- ツムちゃんがいやだなと思うことを考えると、今度から気を付けないといけないと思った。
- ブランコをかわってもらいたいとき、「10回したらかわって」と言えばよいことが分かった。

評価シートから

実践前後で有意差が見られた項目は以下の通りである。

- 「それは本当によいことなのかな？」と考えることができましたか。
- 放送番組を使った学習は、楽しいと思いますか。

同僚の評価

- 番組視聴でどの子もツムちゃんの心情に寄り添うことができていた。

実践を終えて

分かりやすく、インパクトのある番組を視聴することで、子どもたちは自分なりの考えをもつことができてきた。また、ストーリーに引き込まれていくうちに、主人公の心情に寄り添い、話し合いを活発化することができた。さらに、自分の体験を振り返ることもできた。今後は、放送番組の活用をすすめていくことで、より友達と関わる力を伸ばしていきたい。